

議会だより すその

創刊昭和60年7月15日から

150号



12月定例会

発行：裾野市議会

No.150 令和5年1月25日

1億5,100万円の増額

補正予算

総務分科会

郵便局^(※1)によるマイナンバーカード電子証明書更新事務委託(市民課)

問 市民が郵便局へ行くための広報はどのような方法で行うのか。

答 令和5年3月1日から開始するので、全地区に回覧などで広報していく。

市民課でのマイナンバーカード交付



本庁舎3階の壁を撤去(行政課)

問 本庁舎3階間仕切り壁の撤去工事で、どのような効果があるか。

答 壁をなくすことで通気性が向上し、感染症対策に繋がる。

撤去予定の庁舎3階の壁



問 工事期間中の業務への支障や市民の立入制限などは生じないか。

答 大掛りな工事は休日に行い、平日は業務にも立入にも影響のない作業を進める予定。

人事院勧告による人件費の増(人事課)

問 本年8月の人事院勧告を受け、人件費が約2,000万円増額となるが、人件費の抑制への対策はあるのか。

答 時間外勤務の削減、管理職手当の削減など継続した対策を行っていく。

厚生文教分科会

寄附による備品購入(総合福祉課)

問 寄附者の意向として、どの分野での活用を望んでいるか。

答 高齢者への支援に充当して欲しい旨が示され、マッサージ機、身長体重計、ワイヤレスアンプなどを希望し、老人福祉センターに設置予定。

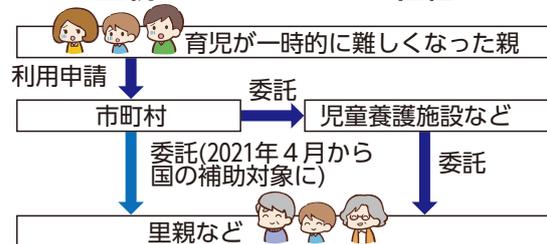
子育て短期支援委託

(ショートステイ事業^{※2}) (子育て支援課)

問 ショートステイ事業が必要となった理由は。

答 保護者のリフレッシュに対応でき、虐待防止につながる。

里親ショートステイの仕組み



千福が丘小学校特別支援学級増室工事(教育総務課)

問 身体機能への配慮を増室でどのように対応するのか。

答 空き教室を改修し、手すりなどを設置する。また、教職員の配置は県と協議している。

(※1) 対象となる郵便局…須山、御宿、岩波、市役所前、いずみの5つの郵便局。

(※2) ショートステイ事業とは…保護者の疾病その他の理由により児童の養育が一時的に困難になった場合などに、児童養護施設などで養育・保護を行う事業（原則7日間）

その他議案のチェック!

……産業建設分科会……

TOUKAI-0による耐震化の促進(まちづくり課)

問 木造住宅耐震補強助成事業においては今年度は何件分を想定しているか。

答 今年度は申請のある4件分を想定しており、この補正で十分足りると考えている。

森林環境譲与税への増額配分(農林振興課)

問 森林環境譲与税の内訳と増額理由は。

答 算定基礎として、人口が3割、林業就業者数が2割、私有林人工林面積が5割となっており、加えて林野率75%超で割増しとなる。増額理由は林業就業者数の増加によるもの。

企業版ふるさと納税 地方創生特別会計予算

岩波駅周辺整備事業の実施(ウーブン・シティ周辺整備課)

問 負担金は国土交通省と協議中とのことだが工事内容などの詳細は。

答 国道246号と県道インター線の交差点に架かる御宿第一歩道橋の撤去を行うもの。

架け替え予定の御宿第一歩道橋



特別会計予算

水道事業会計予算(上下水道経営課)

問 動力費での電気料金高騰への対応以外に、予備費を1,000万円補正する根拠は。

答 予想の難しい自家発電機用の燃料費への対応、資材の更なる高騰への対応や滅菌薬剤の確実な確保などに対応するため。

その他議案

子ども家庭総合支援拠点を福祉保健会館に設置へ(子育て支援課)

問 機能やメリットは。

答 総合支援拠点に家庭児童相談室を包含し、2023年3月1日に開始するよう準備を進めている。福祉保健会館の機能拡充により、多世代利用にも結び付く。

福祉保健会館内の子ども家庭総合支援拠点



職員の高齢者部分休業に関する条例の制定(人事課)

問 部分休業を取得することによる他の職員への支障はあるか。

答 公務に支障がない範囲で承認していく。

表彰条例の一部改正(秘書課)

問 新たに環境分野を増やすとの説明だが、具体的な内容は。

答 環境保全に係わる団体で、猟友会なども対象となる。



12月定例会の審議議案と結果

全会一致の議案

議案番号	議案名	結果
報第10号	専決処分 交通事故以外の事故に係る損害賠償の額の決定及び和解 林道を走行していた相手方車両が、林道上に存在した穴にはまり車両右側前輪のタイヤなどを損傷した。	了承
第79号議案	特定の事務を取り扱う郵便局の指定 マイナンバーカードの電子証明（署名用電子証明書及び利用者証明用電子証明書）の更新などに係る事務を市内郵便局に指定し分散化する。	原案可決
第80号議案	条例制定 職員の高齢者部分休業に関する条例の制定 高齢期職員の多様な働き方のニーズに応えるための選択肢の一つに定年退職前に先行的に休業を取得することができる制度として導入する。	
第81号議案	条例改正 表彰条例の一部改正 表彰の対象となる分野を現状の社会情勢に合った規定に変更する。	
第82号議案	条例改正 印鑑条例の一部改正 印鑑登録原票の電子管理化により、印鑑登録原票の調製方法や印鑑登録証明書の証明方法の規定を見直しする。	
第83号議案	条例改正 一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部改正 8月8日付け人事院勧告に基づき、一般職の任期付職員に支給する給料及び期末手当の額を改定する。	
第84号議案	条例改正 裾野市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正 8月8日付け人事院勧告を勘案し、裾野市議会議員に支給する期末手当の額を改定する。	
第85号議案	条例改正 特別職の職員の給与に関する条例の一部改正 8月8日付け人事院勧告を勘案し、特別職の職員に支給する期末手当の額を改定する。	
第86号議案	条例改正 特別職の職員の給与の特例に関する条例の一部改正 特例で定める市長に支給する期末手当の額を、人事院勧告を踏まえ、相当する額に改正する。	
第87号議案	条例改正 職員の給与に関する条例の一部改正 8月8日付け人事院勧告に基づき、職員に支給する給料及び勤勉手当の額を改定する。	
第88号議案	条例改正 手数料条例の一部改正 家屋課税台帳及び家屋補充課税台帳の電子管理化に伴い、家屋図面の複写手数料を追加する。	
第89号議案	条例改正 学習、集会等供用施設の設備及び管理に関する条例の一部改正 国庫補助事業で、学習、集会等供用施設として伊豆島田区集会所を整備する。	
第90号議案	条例改正 福祉保健会館の設置及び管理に関する条例の一部改正 裾野市福祉保健会館に「裾野市子ども家庭総合支援拠点」を設置する。	
第91号議案	令和4年度一般会計補正予算（第10回） 1億3,000万円を追加し、補正後の予算総額を210億5,000万円とする。内容は、主に郵便局マイナンバーカード更新事務委託、ふるさと納税返礼品発送事業費の増、木造住宅耐震補強助成事業費の増、千福が丘小学校特別支援学級増室の増など。	
第92号議案	令和4年度企業版ふるさと納税地方創生特別会計補正予算（第3回） 1億139万8千円を追加し、予算総額を9億3,591万7千円とする。内容は、主に岩波駅周辺整備費の増と人件費の増。	
第93号議案	令和4年度水道事業会計補正予算（第2回） 収益的収入を9億6,724万円、収益的支出を7億5,399万5千円、資本的収入を2,600万円、資本的支出を3億2,103万5千円と定めるもの。内容は、電気料金などの物価高騰による増。	
第94号議案	令和4年度下水道事業会計補正予算（第2回） 収益的収入を7億4,731万円、収益的支出を7億4,416万9千円、資本的収入を3億9,112万1千円、資本的支出を6億874万4千円と定めるもの。内容は、補助対象事業の変更などによる減。	
第95号議案	規約変更 静岡県市町総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び規約の変更 構成団体である太田川原野谷川治水水防組合の解散により規約を変更。	
第96号議案	令和4年度一般会計補正予算（第11回） 2,100万円を追加し、補正後の予算総額210億7,100万円とする。内容は、主に新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金による庁舎3階南面間仕切り壁の撤去、裾野赤十字病院光熱費などの高騰支援など。	
議員提出議案 第8号	決議 保育環境の安定に向け迅速な対応を求める決議 議員に寄せられる多世代からの不安の声や、全国からの問い合わせや報道取材に対し、部署や役割関係なく対応せざるを得ない状況を重く受けとめ、議会の意思表示が必要であるとの認識で一致。	

賛否が分かれた議案の概要と議員ごとの賛否内容

※賛成は○、反対は●、数字は議席番号を表しています。議長（中村純也）は同数以外、採決には加わりません。

議席番号 議員名	① 則武優貴	② 小林浩文	③ 大橋勝彦	④ 勝又利裕	⑤ 勝又豊	⑥ 浅田基行	⑦ 木村典由	⑧ 増田祐二	⑨ 土屋主久	⑩ 杉山茂規	⑪ 佐野利安	⑫ 二ノ宮善明	⑬ 三富美代子	⑭ 賀茂博美	⑮ 岡本和枝	⑯ 小林俊	⑰ 内藤法子	⑱ 井出悟	⑲ 中村純也	結果
議案内容	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	欠	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	欠	⑱	-	
第79号議案	特定の事務を取り扱う郵便局の指定 地方公共団体の特定の事務の郵便局における取扱いに関する法律に基づき、マイナンバーカードの電子証明書（署名用電子証明書及び利用者証明用電子証明書をいう）の更新などに係る事務を市内郵便局に指定することで、市民の利便性向上、分散化により本庁舎の混雑を緩和し来庁者の待ち時間の軽減を図る。																		原案可決 賛成：15 反対：1	
第91号議案	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	欠	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	欠	⑱	-	原案可決 賛成：15 反対：1
議案内容	令和4年度一般会計補正予算（第10回） 戸籍住民基本台帳費として1,439万円を計上し、10/10が国支出金。役務費や委託料が主となる。																			

討論

第79号議案 特定の事務を取り扱う郵便局の指定

▲ 本庁舎の混雑緩和をいうなら郵便局指定の前に深良・富岡・須山の支所でマイナンバーカードの更新事務を行うと良い。事業開始後は郵便局へ1件1,380円の手数料が必要。国からの補助金は1年間のみ。その後どうなるか不安定な状態。原資は税金。行政でできることは、個人情報保護のためにも安易に外部に出さない方が良い。

反対です

賛成です

▲ マイナンバーカードの普及が進み、既に約6割の方が取得されている。今後も所持率の増加が想定され、定期的な更新手続きが必要になるが、現状は、市役所でしか取り扱えない。今回の郵便局の指定は、市役所窓口事務の分散化による混雑緩和や住民サービス向上につながる取組みである。

岡本和枝

三富美代子

第91号議案 令和4年度一般会計補正予算（第10回） マイナンバーカード更新事務委託

▲ 第79号議案で反対したマイナンバーカードの更新事務を市内郵便局が行う事務委託関連予算が入っている補正のため反対。マイナンバーカードの取得は任意です。ところが、マイナポイントや保険証・免許証のマイナンバーカードの一体化など、取得のためアメとムチを示す事態も問題提起したい。

反対です

賛成です

▲ 現在も、マイナンバーカードの普及は進んでおり、今後、市役所の窓口1カ所だけでは、新規、更新する市民の方で混雑が予想され、回避は難しい状況となります。各地区の郵便局で行えることとなれば、利便性の向上並びに混雑が緩和されることは、市民サービス向上につながるものと期待される。

岡本和枝

浅田基行

裾野市議会臨時議会（第3回）の審議議案と結果 会期：11月8日

全会一致の議案

議案番号	議案名	結果
第77号議案	条例制定) 裾野市民文化センター大ホールスプリンクラー事故調査委員会条例の制定 令和4年9月24日に発生した裾野市民文化センター大ホールスプリンクラー事故で、事故の原因を調査し、再発防止を図るため、公正で客観的な立場である第三者の専門家による事故調査委員会を設置するため、本条例を制定する。	原案可決
第78号議案	令和4年度一般会計補正予算（第9回） 900万円を追加し、補正後の予算総額を209億2,000万円とするもので、内容は、主に市民文化センター費で事故調査委員会設置による増及び弁護士費用の増。	

裾野市議会臨時議会（第4回）の審議議案と結果 会期：12月26日

全会一致の議案

議案番号	議案名	結果
第97号議案	条例制定) 再編関連訓練移転等交付金事業基金条例の制定 国から内示を受けた令和4年度再編関連訓練移転等の交付金を活用し、令和5年度以降複数年で市内の公園及び緑地の整備を実施するため、当該交付金を基金化する。	原案可決
第98号議案	令和4年度一般会計補正予算（第12回） 1,100万円を追加し、補正後の予算総額210億8,200万円とするもので、内容は、主に再編関連訓練移転等交付金事業基金への積立金の増。	
第99号議案	損害賠償の額の決定及び和解 裾野市中央公園内の木の枝が強風により飛散し、市道1-5号線を通行していた相手方車両の屋根及び右側前後のドアを破損したものの。(令和4年9月25日発生)	

12人が一般質問で市政を問う

教育



土屋主久議員

問 学校給食室回転窯ガス漏れ事故の再発防止のため、調理機器の更新を計画的に実施すべきだが考えは。

答 調理機器更新を計画的に進めると同時に給食センターの在り方も早急に検討を進める。

給食センター



三富美代子議員

問 裾野市育英奨学金を市役所窓口や銀行以外でも返済できるようにしては。

答 現状では、新システムの構築が必要であり課題が大きいため、現状を維持しつつ、引き続き調査研究をしていく。

則武優貴議員

問 今後市はどのように金融教育に取り組んで行くのか。

答 成長段階に応じて適切な内容を学んでいくことが必要であるため、実績のある専門家の活用を考えていく。

二ノ宮善明議員

問 県のプロジェクトチームが学校教育に求めていることは、ヤングケアラー^(※3)を把握する取組み及び支援・理解・啓発の推進である。実態把握のための当市独自のアンケート調査実施の考えは。

答 県の調査によりヤングケアラーと思われる児童・生徒の把握ができていないので、独自の調査は行わない。

問 昨年度の県の調査では当市のヤングケアラーは148人であったが、今年度どのように把握できたか伺う。

答 今回、聞き取り調査を行い小学生4人、中学生13人を把握している。

問 県は今後のヤングケアラーの取組みとして、担当部署の設置を要請している。見解は。

答 子育て支援課を想定している。

安心・安全・防災



木村典由議員

問 消防団員数が、年々減少している中、消防庁がまとめた『消防団員の処遇等に関する検討会』の内容を基に裾野市消防団員の処遇改善を行う考えは。

答 消防団を取り巻く環境は、近年の災害の多発化・激甚化など変化しており、入団者数の減少傾向は喫緊の課題である。地域防災力の中核を担う消防団は、その活動に対して、団員の労苦に報いるための適切な対応が必要であるため、消防団員の報酬の処遇改善を行っていく。

消防出初式



佐野利安議員

問 暗い道路が点在する中、市が管理する照明を増やす考えは。

答 現在、約600基の道路灯が設置されている。老朽化や劣化が見受けられるので、新設整備よりも修繕や器具の交換を優先している。

問 防犯灯のLED化を早く行うことで財政的な効果が高いと考えるが、推進の考えは。

答 区の防犯灯は約4,000基のうち7割がLED化している。また年間30基から40基を新設している。それ以外にも、まだまだ町が暗いという意見が多数あるため、防犯灯や道路照明灯を設置する必要がある。子どもから高齢者まで市民の方が安心して暮らせるように「もうまちを暗いなんて言わせない」というスローガンをもって、来年度新設や交換補助を大規模に実施したい。

(※3) ヤングケアラーとは…家族にケアを要する人がいる場合に、大人が担うようなケア責任を引き受け、家事や家族の世話、介護、感情面のサポートなどを行っている 18 歳未満の子ども

12人が一般質問で市政を問う



三富美代子議員

問 今後、危険な空き家などにどのような対策を行うか。

答 市民の安全安心のため、指導を強化、空き家などが原因の危害を未然に防げるように、法を補完する「空家等の適正管理に関する条例」を、来年度までに制定したいと考えている。

問 「まもメール」の2つの機能を活用し、緊急情報を同時配信出来るよう取り組んでは。

答 委託事業者に対し、システムの内容や機能などを確認し検討していく。

文化・観光



増田祐二議員

問 見込まれる観光需要を満たすため、今の取り組みを活かし、稼ぐ観光のビジョンを抱くため構想や計画を定める考えは。

答 観光戦略を一から再構築する観光基本計画を策定する必要があると認識している。次年度の予算化に向けて庁内調整をしている。

問 実際に稼ぐ方々である団体、事業者、市民の方など担い手と行政が一緒になって協議する体制についての見解は。

答 計画策定時に委員会を設置する。観光の担い手にも入ってもらう予定であり、このメンバーが母体となる体制が望ましいと考える。

小林俊議員

問 県道仙石原新田線の整備促進協議会を活動させ、早期に課題解決しては。

答 課題の保安林解除は県が主体で進めているが、総勢45人の協議会で地元の熱意を見せていく。駿東の市長会で議題を提案したい。

改良拡幅がすすむ仙石原新田線



問 ヘルシーパーク裾野の誘客力を向上させ観光拠点としても活用しよう。プールやレストランの利用、条例改正が有効では。

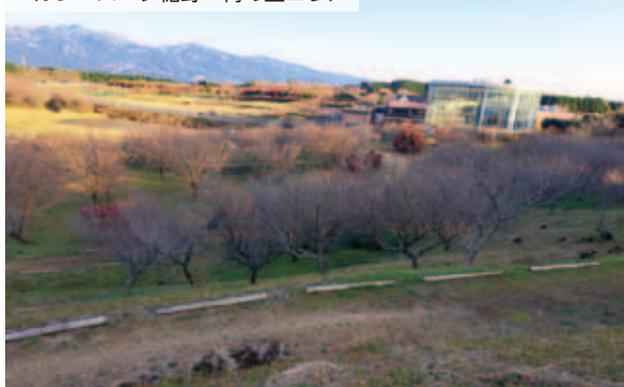
答 プールは天井落下防止が必要。レストランは指定管理者の提案を受けて検討していく。観光部門での運営とする例規改正を準備している。

勝又豊議員

問 ヘルシーパーク裾野には、くつろぎスペースの改修やレストランメニューの開発が必要では。

答 仕様では、指定管理者の自主事業の範囲であり、指示はしていない。指定管理者が自主事業としてコミック書籍閲覧などの事業を行い、お米は地元産の物を提供している。

ヘルシーパーク裾野・梅の里エリア



問 ヘルシーパーク裾野、梅の里のエリアについて、今後の活用の考えは。

答 様々な課題を精査しながら、多面的な利活用や民間活力の導入は、市としての方針をまずは固める必要がある。

まちづくり



勝又豊議員

問 平松深良線の全線開通は、沿線の土地利用に繋がる費用対効果の高い投資であり、通学路の安全に繋がる。早期開通を。

答 平松深良線稲荷工区事業は裾野市の将来に向けた絶好のチャンスと捉え事業に着手し令和5年度事業認可に向け事業費確保に努める。

12人が一般質問で市政を問う

岡本和枝議員

問 裾野市において出生数の減少と子ども世代の市外への転出による人口減少が続いている。原因などとして何か認識されているか。

答 本年度、三島市や長泉町との「富士山南東スマートフロンティア事業」で首都圏在住の子どもと同居中の移住に関心のある20代から40代の男女500人にアンケート調査を行った。男女ともに公園は最大の要因であるという結果が出た。公園の充実も重要な要因の一つである。

問 公園数やその面積の整備率が大きく立ち遅れてしまった裾野市。2017年の西地区区長会提案の「市民協働公園」は市の費用負担も最小で有効な案の一つではないか。

答 来年度は緑地や公園を所管する部署を新設し既存公園の充実、新設公園の事業を進めていく。各区にある公



偕楽園(不動の滝)

園も、遊具に関する保険料の支払いを市が行うなど各区への支援の仕方を検討する。

くらし



土屋圭久議員

問 家庭や学校給食などから排出される生ゴミの堆肥化を美化センターの新たなゴミ処理方法の1つとして検討しては。

答 生ゴミの堆肥化は、市域に循環されることでゴミの排出量削減となる。燃えるゴミの資源化の手法の1つとして調査研究していきたい。

美化センター



則武優貴議員

問 千福が丘区には2,600人の住民がいる。住民の固定資産や汚水処理を守ることが非常に大切である。市の見解は。

答 汚水処理というのは市街化区域において都市施設の一部である。この区域に必要なことはコミュニティプラント^(※4)の市への移管である。しかしながら、受益者が負担する汚水処理料金は、各戸が払う現在の料金よりも高い金額になる可能性がある。今後、住民との話し合いをしていかななくてはならないと考える。

増田祐一議員

問 公共交通活性化協議会で、得意と苦手を共有し「公共交通の役割分担」が話し合える場とする考えは。

答 部会制なども視野に入れつつ、幅広く意見交換をする時間を設けるよう検討する。

財 政



浅田基行議員

問 財政非常事態宣言が発出され、今年度から第2期行財政構造改革が始まったが、未だ全体ビジョンが示されていない。どうなっているのか。

答 裾野市をどこの自治体にも負けない、良い自治体にすると共に宣言撤回の検討を並行して行う必要がある。非常にハードルが高いが、新たなビジョンや従前からあったミッション、行動指針、今後3年間をどのようにして重点施策を実施していくのか、市長就任1年を目処に策定していく。

小林俊議員

問 財政非常事態宣言は世紀の愚策だ。取り下げしては。

答 影響を及ぼすと認識している。そのような状態からなるべく早く脱却するべく努力している。

(※4) コミュニティプラントとは…一般的に住宅団地などに設置される汚水処理施設のこと。

12人が一般質問で市政を問う



医療・福祉



木村典由議員

問 静岡県では、手話言語条例が平成30年に制定されているが、裾野市は手話言語条例を制定する考えは。

答 現時点での考えはない。手話事業は、近隣市町で広域的に協力し、条例化を研究していく。また現在手話通訳者を増やすため、手話奉仕員養成事業を実施している。



子育て



浅田基行議員

問 ショートステイを活用するには、里親になる方を増やすなどまず興味を持っていただくことが大事であるが、どのような啓発などをしていく考えか。

答 現在進めている子ども家庭総合支援拠点の設置などと併せ、要支援児童に対する重要な取組と考えているので、県と連携しながら、啓発相談体制の充実を図っていく。



産業



土屋主久議員

問 須山B地区工業団地整備を、今後どのように展開していくのか。

答 地域の生活環境向上・地域活力維持のため、スピード感を持ち、地域特性を生かした造成手法での事業化をするために民間活力による整備手法も含め、幅広く検討、調整、推進を図っていく。

その他

賀茂博美議員

問 裾野市民文化センタースプリンクラー事故調査の進捗状況は。

答 第1回の事故調査委員会が11月28日に開催され、事故原因が施設の瑕疵、設備の故障が無かったかを究明してもらう。第三者の可能性は警察の調査に委ねている。事故なのか事件なのかは警察の公表を待つ。

スプリンクラーの手动起動弁



問 この事態の收拾に向けた考えは。

答 事故調査委員会の報告書を待つ。

問 文化センターの今後の方針検討に、市民の意見を聴取しては。

答 文化センターの令和5年度の方針は現在検討中。指定管理制度も令和4年度末に契約期間が終了となるため、継続の検討をしており、早期に方針を示したい。

保育環境の安定に向け迅速な対応を求める決議



全会一致で可決され市長に提出しました。

- 1 本事案によって心に傷を負った方へ早急に対応できるケア体制の充実に取り組むこと。
- 2 安心できる保育環境を確保し、本事案を起因とした待機児童を発生させない保育体制を構築すること。
- 3 本事案による混乱が、他の市民サービスにまで影響を及ぼさないよう努めること。
- 4 市は保育施設に対する指導や監査および不適切事案発覚時の対応などについて検証し、必要な再発防止策を講じ、当市および当市保育施設に対する信頼の回復に早急に取り組むこと。

以上、決議する。 令和4年12月13日

議会だより 創刊 150号発刊に寄せて

当議会だより創刊号「議会ってなあ〜に」は、議会の取り組みや様子を積極的に発信することが生み出す、議会と市民との親近感、活発な情報交換に期待が寄せられ、昭和60年7月に発行されました。以来、その目的に向上性を持たせるため、掲載の方法や項目、見せ方などの研究を続け、今日に至っております。

昭和、平成、令和と時代の流れの変化に順応させながら作られてきた本誌も、150号を数える発行となりました。本誌に目を通し、編集に関することはもとより、議案や審査の内容、市政および議会活動のあり方などに対してお寄せいただくご意見など、皆さまに支えられ発行を続けられてきたことに対し、改めて感謝申し上げます。

議会の役割や基本的事項を明らかにし、市民の信託に的確に応え、市民福祉の向上と市政の発展に寄与することを目的とした裾野市議会基本条例（平成25年4月施行）に対し、現在、市民の想いや声を共有する情報手段は多様化し、議会と市民との情報交換はより実行しやすい環境となっております。

裾野市議会は、「議会だより編集委員会」を「広報広聴委員会」へと変え、「議会活動の発信」に加え「情報の収集」に力を入れ、企画提案や政策立案につなげる仕組みを積極的に活用し、その機能を強化して参ります。情報受発信を基軸とした活動が市民福祉の向上、市政発展に繋がるよう皆さまのご参画をお願い申し上げ、150号発刊のご挨拶とさせていただきます。

裾野市議会議長 中村純也

本ページは、広報広聴委員が市民の皆様に取材を行い、掲載しています。



市川英夫さん（茶畑）

偕楽園は30年前に自然豊かな公園に改修され、地元の皆さんの協力で整備されてきましたが、いつの間にか遊具が減り、今はジャングルジムとブランコしか無く非常に寂しい。将来を背負う子ども達が立派に成長する環境を創る為にも、遊具の整備をお願いします。



木下航さん（公文名）

先日市役所に行った際、想像より早く対応して頂きました。今はマイナンバーカード等の対応もあり、大変忙しい中ではあると思いますが、待ち時間の短縮化対応の迅速さをこれからも期待したいです。



長田麻由子さん（茶畑）

子ども達が裾野を好きになってもらうために、今ある自然を大切にしたいのびと遊べる環境を残しつつ、地域の大人と子どもの関わりを通じて子どもの多様性を認める社会を創ってほしいです。



牧野幸雄さん（公文名）

自然を大切に、また農業などの一次産業を守りながら、子供たちがのびのびと、いきいきと学び成長していける街。人として大切なことを見失うことなく、未来の子供たちのために、長期目線での議会に期待します。



竹本淳さん（桃園）

裾野市の未来を担う不登校児やヤングケアラーなどを含む子供たちの支援を期待します。また、彼らを支える親やそのまた親（高齢者）世代との交流をもてるメタバースなどの環境を構築してもらえたらいいと思います。



前田高史さん（千福が丘）

財政難から市民サービスを削減し、人口流出が拡大していると聞きます。財政難を解決するには企業誘致、人口増加等々の方法があると思いますが、市民皆が笑って暮らせる、働ける街を目指してほしいと思います。

令和5年2月定例会(予定)

※予定は変更する可能性があります。

2月15日	水	本会議	10:00～	3月1日	水	予算決算委員会	13:30～
2月17日	金	本会議	10:00～	3月2日	木	予算決算委員会 (厚生文教分科会)	9:00～
		予算決算委員会	本会議終了後				
2月20日	月	予算決算委員会 (総務分科会) 総務委員会	9:00～	3月3日	金	本会議	10:00～
2月21日	火	予算決算委員会 (厚生文教分科会) 厚生文教委員会	9:00～	3月6日	月	予算決算委員会 (厚生文教分科会)	9:00～
				3月7日	火	予算決算委員会 (産業建設分科会)	9:00～
2月22日	水	予算決算委員会 (産業建設分科会) 産業建設委員会	9:00～	3月8日	水		
				3月10日	金		
2月24日	金	予算決算委員会 (現地視察)	13:30～	3月13日	月		
2月27日	月	予算決算委員会 (総務分科会)	9:00～	3月14日	火	予算決算委員会	本会議終了後
				3月15日	水		
2月28日	火			3月20日	月	本会議	10:00～



裾野市議会

議会映像を配信しています!

ぜひご覧
ください。



傍聴ありがとうございました

12月定例会は48人の方が傍聴されました。
いただいたご意見の一部を紹介します。

初めて傍聴しました。

静かな中にピンと張りつめた空気を感じ、議員の皆様が市民の事を考えていることにありがたく思いました。
60代

表面的な質疑と答弁が多い。

議員がもっとデータなどを利用してつっこんだ議論が必要だと感じました。
60代

広報広聴委員会



委員 大橋 勝彦 委員 勝又 豊 委員 則武 優貴 委員 浅田 基行
副委員長 杉山 茂規 委員長 木村 典由

各常任委員会から選出された編集委員です。
議会だよりは年4回発行します。皆様のご意見をお待ちしています。

議会を
チェック!!

裾野市議会

検索



議会だよりすそのでは、誰もが「見やすく、読みやすい」ように細かい部分に配慮したUD(ユニバーサルデザイン)フォントを使用しています。

発行●裾野市議会 静岡県裾野市佐野 1059
Eメール●gikai@city.susono.shizuoka.jp

編集●広報広聴委員会 ☎055-995-1839(直通)
印刷●ナポー株式会社



会議録検索システム